

加速器とは、原子よりも小さな粒子を人工的に加速してさまざまな研究や分析をおこなう実験装置です。本展では、大型加速器施設の実際のようなすや発展の歴史を交えつつ、加速器の初歩から宇宙の謎をさぐる最先端研究、身近なところで利用されている研究成果まで、わかりやすく紹介します。

大強度陽子加速器施設 (J-PARC)
ドリフトチューブリニアック



一周 1.5km の実験施設のトンネルをぐるっと歩いて撮影してみたよ!

それでは出発

おおっ、そんなに広いのか!

展示にはこんなものもあるよ!

小判…? タイヤ…? 他のは何だ…!?

見に行っ、確かめるしかないぜ!

オレたち「カソクキッズ」と「P君ファミリー」が展示を案内するぜ!

J-PARC イメージキャラクター「P君ファミリー」 科学マンガ「カソクキッズ」のキャラクターたち

第1会場 (日本館1階企画展示室)

第1章 加速器ってなんだ?

「原子よりも小さな粒子って何?」「どうやって加速するの?」「加速してどうするの?」…… そんな皆さんの疑問に答えます。

第2章 巨大実験施設へようこそ

科学研究に使われる加速器には、びっくりするほど巨大なものもあります。大型加速器施設とは、どんなところなのでしょう?

第3章 宇宙・物質・生命の謎にせまる

加速器だからこそできる「宇宙誕生の謎を紐解く研究」や「人類の未来を豊かにする新物質開発の研究」などを紹介します。

第2会場 (地球館地下3階常設展示室内)

日本の大型加速器のあゆみ

戦前から戦後へ、そして現在へ。日本における大型加速器の歴史を、資料とともにたどります。

【掲載資料 (所蔵)】 経産省 (戦国時代の金貨) / 加須市教育委員会 (埼玉県) / Belle II 実験のモニター画面 (高エネルギー加速器研究機構) / DUNLOP「エナセーブ NEXT #1」(住友ゴム工業 (株)) / 東京大学宮本研究室電子シンクロトロン線の構造石 (国立科学博物館) / スーパーカミオカンデ検出器の光電子増倍管 (高エネルギー加速器研究機構) 写真提供: 浜松トニクス株式会社 / タンバク質「リボソーム」の模型 (国立科学博物館) / 二重超原子核の実験で使用された原子核写真乾板 (岐阜大学) 【キャラクター】「カソクキッズ」原作: うるの拓也 作画: 高橋謙三(えんや木真知(うるのクリエイティブ事務所)) 監修: 高エネルギー加速器研究機構 / 「P君ファミリー」©J-PARCセンター

入館に際しての注意事項

- 入館の際は、当館ホームページでの事前予約が必要です。
 - 入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入館をお断りします。
 - 入館中はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。
- ※入館方法の詳細等については、当館ホームページをご覧ください。
<https://www.kahaku.go.jp/>



アクセス

- JR
「上野駅」公園口から徒歩5分
- 東京メトロ 銀座線・日比谷線
「上野駅」7番出口から徒歩10分
- 京成電鉄
「京成上野駅」正面口から徒歩10分
※当館には駐車場および駐輪場はございません。

国立科学博物館
National Museum of Nature and Science
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
TEL: 060-5541-8600 (ハローダイヤル)
FAX: 03-5814-9898
<https://www.kahaku.go.jp/>

